



観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.23 2019.11.1

ミライエ

観音寺の輝く未来へ市議会の動きをわかりやすくお伝えします

9月定例会のあらまし2

一般質問5


審議結果11



「背中」 撮影：香川県立観音寺第一高等学校 写真部 2年 中山明音



人口 60,071人
(2019.10.1現在 内外国人885人)
(対7月比121人減)

 検索

総務委員会報告

Pick up!

歳入267億1,401万円、歳出256億68万円の決算に対し、委員から反対の意見はなく、全会一致で認定すべきものと決定した。

各所管委員会の関係部分の審査においても反対意見はなく、全会一致で認定すべきものと決定した。

認定第1号
平成30年度
一般会計歳入歳出
決算認定

定例会が9月2日から26日までの25日間の会期で開かれた。提出された議案のうち、人権擁護委員の候補者推薦の人事案件1件と、財産取得の契約案件1件を初日に同意した。

一般質問は9日に7人、10日に4人が市政についてたずねた。人事案件1件、契約案件1件以外の32議案については、各常任委員会に付託し、審査した。

最終日には、各常任委員会付託議案を原案のとおり認定および可決した。また、追加議案1件が提出され、原案のとおり同意した。

※本号から、提出議案の一部を議会だよりにて紹介します。

Pick up!

歳入1億1,110万円、歳出7,813万円の決算に対し、委員から反対の意見はなく、全会一致で認定すべきものと決定した。

認定第2号
平成30年度
施設貸付事業
特別会計歳入歳出
決算認定

Pick up!

4億8,273万円増
(補正後272億9,467万9千円)

主な歳入

地方特例交付金	2,106万円
地方交付税	2億115万円
寄附金	2億205万円
繰越金	3億5,946万円

議案第62号
令和元年度
一般会計補正予算
(第2号)の概要

Pick up!

主な歳出

ふるさと納税推進事業	1億1,607万円
がんばれ観音寺応援基金費	2億円
北浦港公衆トイレ整備事業	268万円
子育てのための施設等利用給付事業	1,026万円
単独県費補助土地改良事業	1,999万円
ため池ハザードマップ作成事業	1,815万円
港湾施設長寿命化計画策定事業	2,793万円
公民館施設設備改修事業	499万円

令和元年度
一般会計補正予算
(第2号)の概要

議案第62号

Pick up!

2,996万円増
(補正後3億796万円)

主な歳出

船舶等維持管理費	381万円
予備費	2,606万円

主な歳入

繰越金	2,996万円
-----	---------

令和元年度
航路事業
特別会計補正予算
(第1号)の概要

議案第64号

建設経済委員会報告

Pick up!

油井北側地区の農地耕作
条件改善事業の施行に伴い、
新しい字界を定めるもの。

字の区域の
変更について

議案第60号

Pick up!

各会計の決算状況について、
将来の財政運営の健全な発展に反映させることを
主眼に審査した。

平成30年度
・公共下水道事業
・農業集落排水事業
特別会計歳入歳出
決算認定

認定第11・12号

Pick up!

2億5,539万8千円増
(補正後18億7,539万8千円)

主な歳出

施設費 1,624万円
予備費 2億3,915万円

主な歳入

国庫支出金 300万円
繰越金 2億4,939万円

令和元年度
公共下水道事業特別
会計補正予算
(第1号)の概要

議案第65号

文教民生委員会報告

Pick up!

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件を改めるもの。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

議案第55号

Pick up!

10月からの教育・保育無償化のために、子ども・子育て支援法の一部が改正されたことに伴い、法令の中で使用する用語を変更するもの。

子どものための教育・保育に関する利用者の負担額を定める条例の一部改正について

議案第54号

Pick up!

9,574万5千円増
(補正後59億374万5千円)

主な歳入

繰越金 8,759万円

主な歳出

認定調査等事業 167万円
地域密着型介護予防サービス給付事業 830万円
償還金及び還付加算金 3,887万円
予備費 4,689万円

令和元年度
介護保険事業特別会計
補正予算(第1号)の概要

議案第63号



茂 諺問
自民新国会

健康ポイント制度の利用状況は

答 弁
アプリ版の利用者は累計285名

〔質問〕健康長寿、医療費削減を目的に、ことし4月から本格的に健康ポイント制度が導入されたが、現在の利用状況を伺う。

〔答 弁〕本年7月末現在の利用状況は、紙の記録シート版の利用者は把握できていないが、携帯電話のアプリ版の利用者は、累計で285名であり、徐々に増えている。

また、一定の健康ポイントをためると、もらえ、県内のサービス協力店で特典を受けられるマイチャレカードの発行件数が、携帯電話のアプリ版で94件、記録シート版で40件である。

本市としても、市民の主体的な健康づくりを支援するため、これまでにポスターの掲示やチラシの配布、市の広報紙やホームページへの掲載など広報活動に取り組んできた。

今後は、より多くの市民に参加してもらえよう、市内の小学生を対象に、記録シートを一人一人に配布するなど、若い世代や働き盛りの世代にも家族ぐるみで健康づくりに興味を持ってもらえるように、取り組む予定であり、利用者の少ない若年層への対策を中心に、さらなる利用の促進を図っていく。



白川 雅仁
公明党

本市の就職氷河期世代に対する支援策は

答 弁
国・県の動向を注視しながら適切に対応していく

〔質問〕厚生労働省が公表した「就職氷河期世代活躍支援プラン」を受け、どのように取り組まれているのか。

〔答 弁〕ニート、引きこもり、フリーターなど、対象は多岐にわたることから、個々の状況に応じた支援策を講じる必要がある。「就職氷河期世代活躍支援プラン」を受け、本市の関係部署が連携しながら市レベルでの支援体制基盤の構築を進めていきたい。まずは実態把握が必要であるため、手法やそのほかの取り組みは、国・県と連携し、それぞれの役割分担を明確にし、効果的、効果的な実施に努めていく。

光害防止技術を活用したLED街灯の導入を

答 弁
有用であるかの検討を進める

〔質問〕夜間における市道の安全と農作物への光害の影響の軽減を両立した街灯の導入を検討しては。

〔答 弁〕自治会要望などにより、本市では、街路灯を整備しているが、農作物への影響を懸念し、稲作の時期の消灯や、遮光板設置による対応を取っている箇所もある。光害防止LED街灯の採用は、器具が高額であるため、現在実証実験を行っている他自治体の結果を見極めながら有用性の検討を進めていく。



大平 直昭
壮志会

市民が主体の介護予防事業への補助金を提案

答 弁
調査研究し協議していく

〔質問〕高齢化社会が進む中、介護予防の事業は、大変重要な取り組みであり、本市でもさまざまな事業が行われているが、市民が主体となる活動のさらなる推進を図るために、他自治体が行っている住民主体の活動団体に対する補助金制度（千葉県習志野市・立ち上げ補助金上限額10万円ほか）の創設を提案する。

〔答 弁〕地域における高齢者の生きがいと社会参加を促進し、閉じこもり予防や介護予防を図るために、「ふれあい・いきいきサロン事業」を、社会福祉協議会に委託し、実施している。平成30年度は、運営支援の補助金を活用して市内199カ所で開催されており、今後も運営支援は継続していく。

なお、新規にサロンを立ち上げる際の立ち上げに要する経費の補助は、全国的には実施している自治体もある。詳細を調査研究し、「第8期介護保険事業計画」策定委員会において協議していく。





合田 隆胤
自民新国会

職員のスキルアップ
推進の取り組みは

答 弁 高い創造性を持った職員
の育成に取り組む

【質問】多くの地方自治体では、団塊の世代と言われた職員の大量退職と、これに伴う新規採用で、組織の新陳代謝が図られる一方、逆に自治体の力を後退させる側面も懸念される。そうならないよう、職員が一人二役、三役できるような質の高い行政サービスを提供できる市役所を目指すべきではないかと考える。組織的な研修だけでなく、職員のやる気にスピーディーに対応できるように支援体制、予算措置などが必要ではないか。

【答弁】多様化する住民ニーズに応えるため努力しているが、専門性の高い業務はコンサルタントなどへ委託をしないと、県や国の壁を越えられない現実もある。それを乗り越えるくらいのスキルを持った職員の育成が重要であると考え。行政の仕組みの中で、市民のために積極的に行動する職員が必要であるため、今後高い創造性を持った職員の育成に力を入れたい。



石山 秀和
公明党

ヒヤリ・ハット（交通安全）対策をただす

答 弁

「公用自動車安全運転推進委員会」を設置し、職員の安全
運転・事故防止策に取り組む

【質問】公用車の事故件数がなかなか減らない。近年の各課の事故状況、過去5年間の推移、この期間に数回事故を起こしている職員は居るのか？

【答弁】過去5年間の各課別件数は、生活環境課18件、税務課4件、健康増進課4件。平成26年度10件、平成27年度18件、平成28年度13件、平成29年度24件、平成30年度20件と推移している。2度、3度事故を起こしている職員は、数名居る。今後、庁内の正副安全運転管理者などで構成する「公用自動車安全運転推進委員会」（仮称）のような組織を設置し、交通安全研修に取り組む。

免許返納者対策について「永年無料パス」の発行を提案

答 弁

のりあいバス利用意向調査アンケート結果や返納者のバス
利用状況を把握し、検討する

【質問】のりあいバス永年無料パスの提案と自動ブレーキなどの安全装置の装着車に対する市独自の補助制度の創設を提案する。

【答弁】バス利用者の意向調査や自主返納者の利用状況を調査し、検討する。また安全装置に対する補助は、県に補助対象枠の増台や事業費の増額を要望する。



井上 浩司
壮志会

高齢者の自動車事故を防止するための対策を伺う

答 弁 県および県内市町の動向も注
視しながら、検討していく

【質問】高齢ドライバーによる事故を防ぐため、アクセルとブレーキの踏み間違いを防止する装置は、3万円から20万円で市販されている。後付けの製品があることを市民に知っていたら必要がある。踏み間違いを防止する装置の取り付け費用の助成について伺う。

【答弁】東京都は、高齢ドライバーによるペダル踏み間違い事故の増加を受けて、緊急対策として本年7月から、ペダル踏み間違いなどによる急加速を抑制する装置の購入・設置に対する補助を始めている。

補助対象は、東京都在住の自動車運転免許証を有する70歳以上の高齢者で、補助額は当該費用の9割補助で、補助限度額は1台当たり10万円である。

安全運転支援装置である急加速抑制装置は、高齢者に限らず、すべてのドライバーに対し、有効な交通事故防止策であると考え。

また、高齢ドライバーの交通事故の抑制に向け、安全運転の啓発および運転免許証返納制度の周知なども併せて実施する。





伊丹 準二
自民新国会

市道国道小学校線の 進捗は

答 弁 国道11号の交差点改良に伴い、交差点部分の工事を施工している

【質問】 年度を跨ぐ市道工事などの進行が分かりづらいが、市道国道小学校線の進行は。
【答弁】 一部未共用部分があり、通行者にはご不便をおかけしている。また、市道庁舎西線は、引き続き用地の交渉を進める予定であり、予算確保についても国・県に要望していく。

瀬戸内国際芸術祭の対応は

答 弁 観音寺港、伊吹島の真浦港に案内所を設け、包括的に対応する

【質問】 来場者に対する窓口対応など、現在の進行状況は。

【答弁】 インバンド対応として英語・中国語・韓国語に対応した指さしシートを作成し、案内所に設置するほか、27言語対応の音声翻訳アプリケーションを用いて、快適に滞在できるように努める。

建設残土の処理は

答 弁 建設発生土の工事間流用を進めるなどリサイクルに努めている

【質問】 建設残土の処理に困難を来たしているようだが、現状は。

【答弁】 本年3月20日より市内の建設残土処分費が高騰している。残土処理は県の主導によりリサイクルに努めている。新規処分場の開拓など建設残土の対応について関係機関と協議していく。



篠原 重寿
無所属(社民)

投票率低下への対策 は

答 弁 若年層に限らず、向上に取り組み

【質問】 ①投票率向上へ、高校生への対策は。②小・中学校の段階から、自らが決めてゆく訓練を繰り返すことが本来の「主権者教育」では。

【答弁】 ①県選挙管理委員会と共に高校での出前授業のほか、期日前投票立会人に高校生を起用している。②新学習指導要領における小・中学校社会科学習でも、さらなる主権者教育の視点が重視される。現状では、さまざまな学習機会を通じ、自ら考え、課題解決する学習を工夫している。

「ゾーン30」設定で交通弱者の安全確保を

答 弁 エリア設定は、地域要望を県警に届ける

【質問】 「ゾーン30」は、市内柞田町エリアを含め、県内23地区に設定されている。整備内容と、交通安全確保策としての効果は。

【答弁】 学校周辺などの生活道路区域を、最高速度30km/hに規制し、路面標示などを設置する。設定によって、周辺住民などの安全意識が向上し、交通事故抑制につながっていく。



安藤 康次
自民新国会

「関係人口」の創出・ 拡大を

答 弁 既存の取り組みを進化・発展させ「関係人口」拡大を

【質問】 「関係人口」とは、移住した「定住人口」でもなく、観光にきた「交流人口」でもない、地域と多様にかかわる人々を指す言葉である。人口減少に対する施策として市域外からの交流の入り口を増やすことが必要であり、「交流人口」増加はもとより、特に「関係人口」の創出の拡大が移住・定住につながる。本市の「関係人口」創出事業の取り組みは。

【答弁】 本市では「関係人口」創出事業として、市の魅力ある地域情報などを自発的に発信していただけの方を「がんばれ観音寺応援隊」として登録しており、さらに隊員数の拡大を図っている。また、ふるさと納税の寄附者には、リピーターになっていただく取り組みや、アニメ作品「結城友奈は勇者である」の舞台モデルであることからさまざまなコラボレーション企画を通じて、全国から多くのファンが訪れている。今後の取り組みとして、国の交付金などを活用し、さまざまな事業を展開している自治体の動向にも注視しながら、さらに効果的な手法を研究したい。





藤田 均
無所属(共産)

消費税増税に本市業者の準備は？

答 弁 業者の対応支援に取り組む

【質問】政府は「10%増税で消費費が落ち込まないように十二分な対策を取る」と複数税率を導入するが、業者は準備できているのか？キャッシュレス決済でポイント還元できる業者は業者があるか？

【答弁】正確な対応状況は把握していない。国の「キャッシュレス・消費者還元事業」には、市内69業者が登録。業者は初期費用や決済手数料が影響し、準備が進まない。商工団体などと支援に取り組む。



高校卒業まで医療費無料の自治体数は？

答 弁 3割超えの541自治体

【質問】来年度から県下全域で、中学校卒業まで医療費無料が実現。全国では、高校卒業までと、中学卒業まで無料の自治体が全体の9割を超えた。本市も、高校卒業まで無料にしてはどうか。高校卒業まで無料化の費用は？

【答弁】一人当たり医療費が中学生と同程度と仮定すると、約4,400万円となる。現時点で延長の考えはない。



五味 伸亮
壮志会

ファミリープール跡地活用を提案

答 弁 測量や登記の作業を早急に行う

【質問】琴弾公園や高屋神社、三豊市では父母ヶ浜、紫雲山など観光客が多く訪れている。バス路線、飲食や宿泊施設も増えている。観光資源が線つながり、滞在型観光が充実しつつある。その流れをかんがみても、跡地活用は有明浜を生かした物で、地元アンケートを基に提案もしてきた。高知県では清流とアウトドアメーカーのブランド力を生かした施設が誕生し、注目を浴びている。その施設は思い描くものであった。区画整備したオートキャンプ場やコテージなどの宿泊施設。カヤックやサップのよゆうなマリンスポーツなど、自然と田舎らしさを大切にした滞在・体験型の観光資源として跡地活用を提案する。

【答弁】滞在・体験型の観光資源としての活用も活用方法の一つである。さまざまな提案や市の検討案を模索してきたが、結論に至っていない。今後は公募することにより議員の提案を含め、いろいろな提案を出していただき、その中から自然環境に配慮し、市民に理解が得られるような活用を選定していくことを考えている。そのために、法定外公共物の整備、土地面積の再確認、土地評価額や解体費などの整理を早急に行う。



掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
詫間 茂	<ul style="list-style-type: none"> ●介護施設ワークサポート事業について ●自治会加入率について ●独居老人・高齢者二人世帯について ●ホームページについて
白川 雅仁	<ul style="list-style-type: none"> ●防災について
大平 直昭	<ul style="list-style-type: none"> ●ちょうさ会館について
合田 隆胤	<ul style="list-style-type: none"> ●SNSを活用した情報発信と運用について ●通学路をはじめとした日常生活での安全対策について
石山 秀和	<ul style="list-style-type: none"> ●瀬戸内海の漁獲量の減少対策について ●幼児教育無償化のスタートについて

氏 名	質 問 件 名
井上 浩司	<ul style="list-style-type: none"> ●電子入札について
篠原 重寿	<ul style="list-style-type: none"> ●災害に備える取り組みについて
安藤 康次	<ul style="list-style-type: none"> ●選挙について ●都市計画税について
藤田 均	<ul style="list-style-type: none"> ●国の新規就農支援の削減について ●海上の大型浮遊ゴミの撤去について ●危険用水路事故対策について
五味 伸亮	<ul style="list-style-type: none"> ●認知症サポーターについて ●観音寺港埋め立て地の大型船舶の係留について

総務委員会視察報告

日程 7月30日～8月1日

1 愛知県蒲郡市

■ 定住促進事業

■ 子育て世代をターゲットとし、定住促進ポータルサイト「いじやん蒲郡」を立ち上げ、医療・子育てなどの行政サービス情報、物件情報、移住者のインタビューを掲載。移住体験モニターツアーを開催し、住宅展示場を利用し1泊2日で実施し、地域を散策、移住者と懇談会、トレッキングなど地元民に近い体験ができる。



▲蒲郡市

2 東京都北区

■ 地域のきずなづくり推進プロジェクト

■ 東日本大震災を通じて「地域のきずな」の重要性を再認識し、個人・行政が抱える課題を解決できるよう区民の参画意識を高めている。区民一人一人が、地域とつながりを持ち、世代を超えた地域コミュニティを創出していくため、各プロジェクトを展開。①地域の担い手育成講座の開催②町会・自治会加入促進イベントの開催③地域円卓会議など。

3 東京都練馬区

■ 空き家・ごみ屋敷対策

■ 空き家地域貢献事業による活用の促進：マッチングによる空き家活用の実現
居場所づくりや塾などの活用（改修する場合、借りる側に100万円補助）
空き家など情報データベースによる適正管理の促進：関係部署で情報共有し連携
相続した空き家の譲渡所得の3,000万円特別控除は一定の効果がある。

4 茨城県つくば市

■ つくばSDG s 未来都市先導プロジェクト

■ 将来の世代のニーズを充足する能力を損なわずに、現世代のニーズも充足する必要があると考え、つくば市総合計画改訂に伴いSDG sを取り入れ、各事業で数値目標を掲げ、KPI判定を行っている。また、つくばSDG s パートナース発足（個人会員約130人、団体会員20団体）。

建設経済委員会視察報告

日程 7月9日～11日

1 神奈川県川崎市

■ 中小企業支援 かわさき☆えるぼしについて

■ 働きたい人が、性別にかかわらず個性や能力を発揮でき、女性の活躍推進や、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、平成30年度に新設した制度。認証された企業の多くが、認証をきっかけとして、女性が活躍できる体制を整えるなどの傾向がみられた。

2 埼玉県川越市

■ 都市整備に係るデマンド型交通について

■ 市内を4分割し、中心部を除く3地区の交通空白地域で段階的に運行を開始している。高齢化率・要介護認定率などの高い地区から優先順位を決定し、運行方式は、乗降場から乗降場への移動方式を採用。今後住民ニーズやデータの分析をし、段階的に運行区域を拡充していく。

3 埼玉県志木市

■ VR（仮想現実）による観光プロモーション事業について

■ 魅力発信プロジェクト（観光プロモーション）として「VR体験」などを実施している。市内の若い世代に、自分のまちに関心を持ってもらうことと、市外への魅力発信のきっかけとしてほかの自治体とは違った方法としてVRでの観光プロモーションを実施している。

4 東京都台東区

■ 創業支援施設 台東デザイナーズビレッジについて

■ 地場産業であるファッション雑貨産業の救済と、廃校の跡地利用のため開設した。ハード面だけではなくソフト面もサポート支援している。今後は、今以上に卒業生の区内定着を向上させ、新たな観光スポットとしても発信していく。



▲川越市

文教民生委員会視察報告

日程 7月16日～18日

1 東京都文京区

■介護施設ワークサポート事業について

■介護人材不足の解消と元気高齢者の活躍の場を提供するため、平成29年度から事業を開始している。座学と実技を20時間から120時間受け、インターンとして介護施設で働けるシステムで、高齢者の生きがいにつながっている。

2 埼玉県熊谷市

■学力向上対策推進事業について

■一般的な学力調査によって測定できる「知力」だけを学力にとらえず、「知・徳・体」のバランスのとれた力を「学力」ととらえている。「知・徳・体」それぞれの力をバランスよく育成するための取り組みとして「くまがやラグビー・オリパラプロジェクト」を策定した。成果として平成30年度全国学力・学習状況調査、平成30年度新体力テストの結果、限りなく「日本一」に近い結果を出している。

3 埼玉県行田市

■地域安心ふれあい事業について

■「ふれあい見守り活動（支えあいマップ作り）」と「いきいき元気サポート制度」の2つの事業から成り立ち、見守りの必要な一人暮らし高齢者世帯などを把握して、安否確認を行う。住民主体の見守りネットワークづくりをしている。また「いきいき元気サポーター」として登録した市民が、買い物支援やごみ出しなどの生活の困りごとを支援する有償ボランティア制度を実施している。

4 東京都荒川区

■タブレットPCを活用した学校教育について

■家庭の経済状況や環境にかかわらず「すべての子どもたちに『21世紀型能力』を身に付けさせる」ことを目的にタブレットPCを導入した。これまでの教科書や黒板と同様に、わかりやすく教える「重要ツール」として、効果的な場面で部分的に使用している。小・中学校とともにタブレットPCを活用した授業は、わかりやすいと感じている児童・生徒は多い。



▲荒川区

「市民フォーラム」の報告 ご参加ありがとうございました

「ケアするまちのデザイン」

市議会は、恒例の市民フォーラムを、ハイスタッフホールの小ホールにて、開催いたしました。

Studio-L代表の山崎亮氏による「地域包括ケア」について講演がありました。全国の事例をもとにご講演いただき、地域で考えることの重要性を考えさせてくれるご講演でした。

アンケートへの貴重なご意見、本当にありがとうございました。今後の議会運営に生かしていきたいと思っております。

※アンケート結果は、ホームページをご覧ください。



審 議 結 果

議案の審議結果 令和元年第2回(9月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
認定第2号	平成30年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第4号	平成30年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第7号	平成30年度観音寺市介護予防サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第8号	平成30年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第9号	平成30年度観音寺市粟井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第10号	平成30年度観音寺市粟井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第11号	平成30年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
認定第12号	平成30年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	//
議案第44号	観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	観音寺市印鑑条例の一部改正について	//
議案第46号	観音寺市民会館の設置及び管理に関する条例等の一部改正について	//
議案第47号	観音寺市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	//
議案第48号	観音寺市粟井財産区管理会委員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	//
議案第51号	会計年度任用職員制度の導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	//
議案第52号	観音寺市職員の旅費に関する条例の一部改正について	//
議案第54号	観音寺市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正について	//
議案第55号	観音寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第56号	観音寺市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	//
議案第57号	観音寺市公民館条例の一部改正について	//
議案第58号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第59号	伊吹辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決
議案第60号	字の区域の変更について	//
議案第61号	財産の取得に係る変更について	同 意
議案第62号	令和元年度観音寺市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第63号	令和元年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第64号	令和元年度観音寺市航路事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第65号	令和元年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	//
議案第66号	工事請負契約の締結について	同 意

●賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議案名等	議員名	藤田	篠原	白川	石山	五味	大平	大久保	井上	豊浦	友枝	立石	詫間	篠原	合田	大矢	大賀	井下	伊丹	安藤	秋山	議決結果			
		均	重	雅	秀	仲	直	保	浩	孝	俊	隆	和	隆	一	正	尊	準	康	忠					
		無	無	公	公	明	明	党	壯	志	会	自										民	新	政	会
認定第1号	平成30年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定		
認定第3号	平成30年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//		
認定第5号	平成30年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//		
認定第6号	平成30年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//		
議案第49号	観音寺市第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
議案第50号	観音寺市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//		
議案第53号	観音寺市税条例の一部改正について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	//		

※会派別五十音順 無所属(会派に所属していない議員) …社会民主党、日本共産党

表紙写真の紹介

「背中」

香川県立観音寺第一高等学校 写真部 2年 中山明音

こんにちは、観音寺第一高等学校写真部の中山です。わたしたちは自分たちで撮影に行ったり、学校の行事を撮ったりしています。

この写真は先日行われた観一祭での「デカンショ」の様子です。毎年3年生男子がはかまと高げたで、その年の世相などを盛り込んだ歌声を響かせます。多くの人々が「デカンショ」を見に観一祭を訪れます。観一の伝統を背負って踊る3年生の「背中」は、いつもより、さらにかっこよく見えました。

これからも日々の記録や心に残る作品を作りたいと思います。

令和
元年度

オープンカフェ ミライエ

みんなで語ろう観音寺の未来!

内容

従来の議会報告会から、オープンカフェ『ミライエ』では、テーマに沿って市民の皆さまの考えや意見などを共有する場になります。市議会議員と一緒に観音寺の未来について語り合いませんか。

日時・場所

令和元年11月19日(火) 19:00～
ハイスタップホール 多目的ホール

ファシリテーター

株式会社ONDO
代表取締役 谷 益美氏

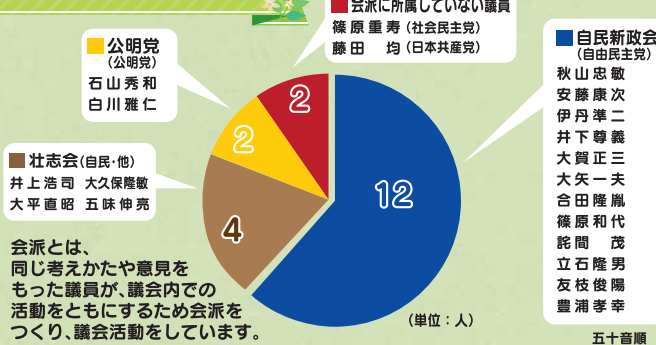
一般応募

10名(応募多数の場合抽選となります。)
※関係団体には事前に市議会よりお声かけさせていただきます。ご了承ください。



本会は事前申し込みとなります。詳しくは、市議会ホームページをご覧ください。多くの皆さまのご応募をお待ちしております!

観音寺市議会議員会派等別人数



視察に来てくれました

◆兵庫県洲本市議会

「議会広報紙の編集・発行について」

19日	13日	12日	11日	9～10日	2日
本会議	総務委員会	建設経済委員会	文教民生委員会	本会議(一般質問)	本会議

12月定例会の予定

広聴広報委員会

編集後記

9月定例会では11人の議員が質問に立ち、市政全般にわたり質問がされました。特に健康問題、介護、防災、自治会加入率などについて熱心に討議され、ことし開催される瀬戸内国際芸術祭についても討議されました。また、各委員会では、平成30年度の決算審査が行われ、予算が適正に執行できているかを慎重に審査し、不備がなかったことを確認しました。

今後は、11月19日に行われるオープンカフェ『ミライエ』に向けて準備を進めてまいりますので、多くの皆さまの参加を期待しております。

委員長	副委員長
石山 秀和	豊浦 孝幸
大平 直昭	友枝 俊陽
大平 直昭	友枝 俊陽
大平 直昭	友枝 俊陽
大平 直昭	友枝 俊陽



古紙配給率70%再生紙を使用しています



この議会だよりは環境にやさしい植物油インキを使用しています。

編集・発行 観音寺市議会・広聴広報委員会

〒768-8601 観音寺市坂本町一丁目1番1号 ☎23-3913 FAX23-3914
E-mail gikai@city.kanonji.lg.jp URL https://www.city.kanonji.kagawa.jp/